

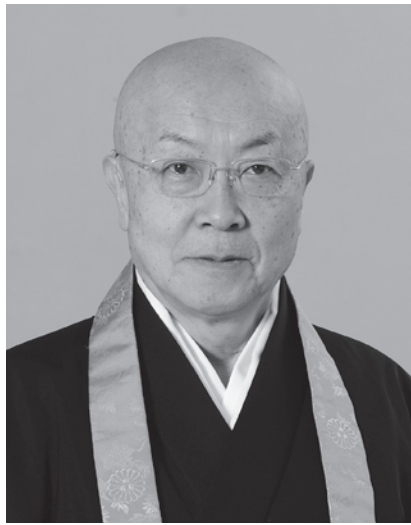


一般社団法人 大日本武徳会

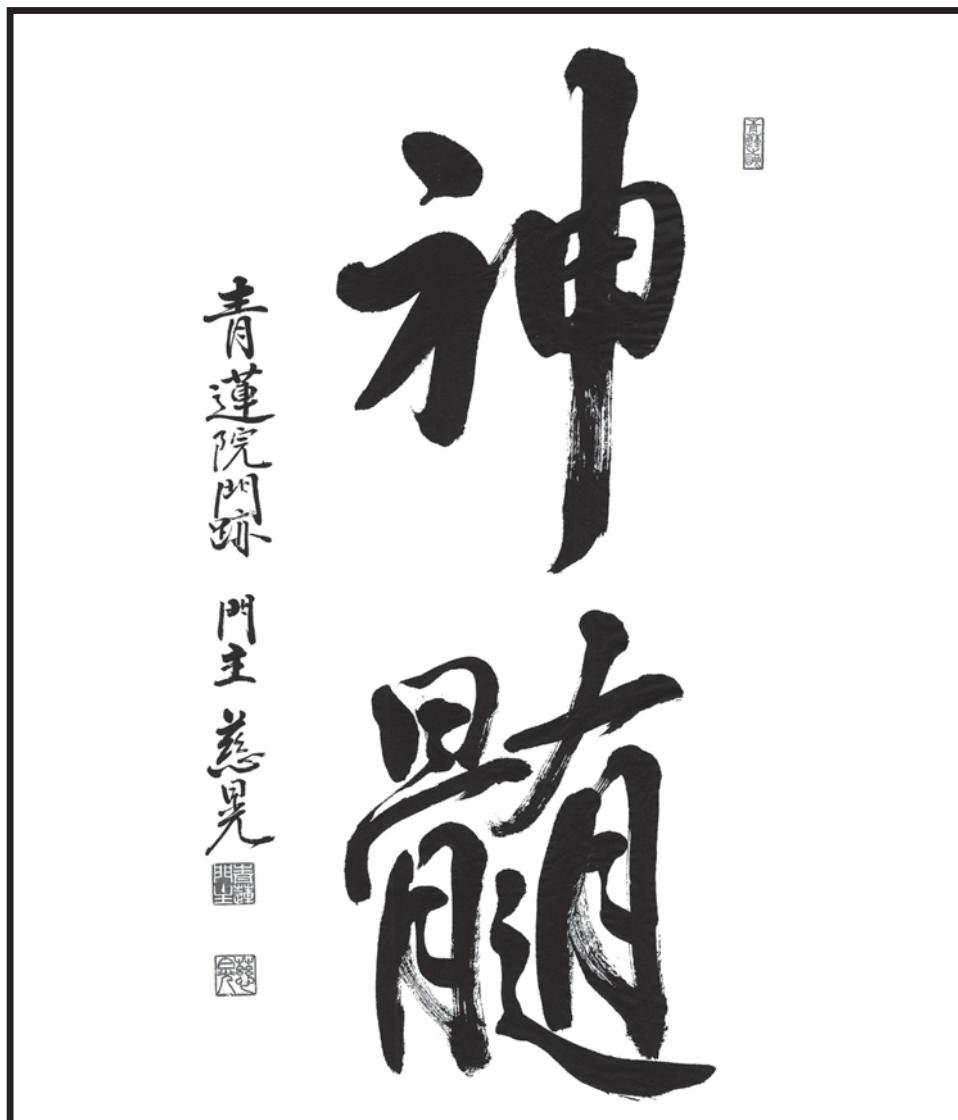
会報 **武徳**

2020.4 春季号





一般社団法人 大日本武徳会



一般社団法人

大日本武徳会

役員名簿

監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	副総裁兼理事	代表理事
高島	藤井	中田	上村	渡邊	山本	竹田	桑原	濱田
幸	正巳	浩大	雅彦	佳代子	楠城	豊	兵充	鉄心

武種別・武道執行専門委員名簿（順不同）

村川	松山	北滝	小成	榊井	東本	長出	中森	中林	平裕	柳邦	落合	桶正	市村	藤井	山本	中田	桑原	濱田
上崎	本	川	山	田	本	田	森	浩	裕	邦	春	正	正	正	楠	武	兵	鉄
竹	秀	文	信	正	敏	廣	順	茂	大	蔵	治	彦	信	章	巳	城	太	充
亨	藏	邦	典	茂	昭	之	守	博	弘	志	一	範	大	蔵	治	彦	信	章

居合道

橋坂	松本	長谷川	木下	加藤	杉生	小松	安藤	西村	渡邊	高木	平松	伊藤	戸田	山田	檜野	渡邊	菓子	木下	森内	山本	村田	石本
本	口	本	谷	藤	生	松	藤	村	邊	木	村	藤	田	田	野	佳	子	公	一	雅	人	平
孝	直	和	安	賢	敏	祐	肇	生	正	造	男	夫	學	樹	輝	正	子	恵	子	藏	勇	人
生	美	清	輝	司	夫	祐	肇	生	正	造	男	夫	學	樹	輝	正	子	恵	子	藏	勇	人

上村	藤井	村山	二又	早坂	川村	平野	永井	宮園	北川	北野	木下	太田	長田	中森	中田	杉野	竹田	中田	濱田	桑原	古	樋口
雅	正	盛	静	義	忠	秀	節	國	隆	公	淳	順	茂	浩	至	寛	豊	太	心	充	武	友
彦	巳	哲	明	文	義	雄	哉	男	茂	雄	子	一	一	範	大	寛	豊	太	心	充	武	視

古武道

大沼	上村	齋木	道觀	桑原	濱田	空	高島	北野	竹田	濱田	桑原	柔	杉生	安達	落合	長田	中森	市村	深野	中田	濱田	剣
沼	村	木	世	兵	鉄	手	島	野	田	田	原	術	生	達	合	田	森	村	良	武	鉄	道
彦	彦	泰	宗	充	心	道	伸	隆	豊	心	充	術	祐	純	彦	一	範	章	興	太	心	道

高島	北野	濱田	桑原	柔	桑原	濱田	合	佐藤	中西	松尾	坂本	藤本	安藤	松村	中田	森内	荒木	花元
伸	隆	鉄	兵	道	兵	鉄	氣	哲	智	一	俊	准	貞	哲	忠	天一	博	浄
幸	雄	心	充	道	充	心	道	治	美	道	一	三	男	人	直	藏	博	一

春号会報指針 世界武徳祭の意義

濱田 鉄心

本会会員の皆様には平素より当会の国内外における総合的な発展に多大なご尽力とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度二月に開催された第七回定時社員総会で報告いたしました今年最大の主催行事は、本会創立百二十五周年記念として第六回世界武徳祭・第五十八回全国武徳祭を開催する事でした。そして、本年度四月に世界各国から二十六カ国約六百名、並びに日本全国からの本会会員と多くの招聘団体・見学者を含め約一〇〇〇名が参加される日本国で最大の伝統武道文化の祭典が京都旧武徳殿で実施される予定でしたが、中国を発生元として世界各国に拡散したコロナウイルス感染症がもたらす公衆衛生上の危険性の為、三月初旬において当会はやむなくこの一大イベントを来年度に延期する判断を致しました。世界各国からの参加者は数十カ所の空港経由地を使用する為、複合感染のリスクは高く、日本国内においてもその感染経路を含め多くの不確定な不安材料が存在している中で、国際的な行事を開催する事は予期せぬリスクを伴う事として考慮する必要があると、世界のメディアが過剰に関心を寄せるこの問題は、必然的に色んな観点から検討しなければならぬと察しました。既に多くの準備事項が進展していた中で延期を余儀なくされたことは誠に残念至極ではありますが、一人でも当会会員から感染者を出さない為には必要な措置であると判断しました。

現在アメリカにおいてCDC国立伝染病研究所や世界の医療研究機関がコロナウイルスのRNAとDNA遺伝子構造の培養解析を進め防御ワクチンの開発などに力を入れておりますが、的確な臨床実験に至るまでに相当な日数がかかるものと思われれます。WHOが既にパンデミック宣言、即ち世界的流行を発信しておりますので、この問題の収束には世界各国が丸となって協力しなければ解決のめどはさらに遅れるものと思われれます。

例えば、武徳殿の狭い限られた空間で一人でもウイルス保菌者や潜伏期間中の感染者が存在すれば大きな公衆衛生上のリスクとなります。この新型病原体に対する情報不足とそれに準じた適切な対応策が見出されていない現状は、戦略なき無防備な状態であると言えます。先の先を取り損ねたら後の先で対応すべきですが、想定外の危機に直面した場合、先を取る方向性が見出されなければ常に後手に回り現実の壁に翻弄されてしまいます。グローバル化した今回の社会的公衆衛生上の国際問題は単なる因果悲観論や楽観的理想論では解決されず厳しい科学的な現実論で、今と未来を見据えて危機管理に対応しなければならぬと思われれます。コロナウイルス感染問題は、人類の共通の課題として政治やイデオロギーの差異を乗り越えた協力体制が必要とされます。共存共栄の理念を実現する為には、現在直面している深刻な問題を世界の人々と共に考え、実行していく必要があります。

今回の世界武徳祭の実現に向けて国内外で三年半に渡り周到な準備を進めて参りました。この延期によって生じる経済的な損失や諸般の問題点などは数多くあると思いますが、それら全ては参加者の健康に比較する対象にはなり得ません。それより今回の延期をチャンスと捉え、与えられた期間を最大限活用してさらに、素晴らしい大会となるように努力する事が重要であると思えます。即ち、今回の問題は一步退いて千歩前進する気概が必要と思われれます。

振り返れば一九九二年に藤原正晴理事長を団長として訪米された本部の先生方と共に盛大に開催されたアメリカ武徳祭に引き続いて、一九九八年に第一回世界武徳祭がアメリカバージニア州ノーフォーク市、州立オールド・ドミニオン大学

において開催されたことに始まり、その大会において東伏見慈晃総裁をはじめとする二十数名の錚々たる本部の先生方が参加され、世界十五カ国五百名近い参加者と共に深い感銘を受けた大会であった事を記憶しています。それ以来オリンピックの年と同じサイクルで四年おきに開催されてきましたが、二〇〇二年に第二回世界武徳祭が国際部数十カ国の参加者と共に京都で開催され、二〇〇八年には第三回世界武徳祭が三十数カ国総勢一〇〇〇名を超える一大イベントになりました。さらに二〇一二年に第四回世界武徳祭が第五十回全国武徳祭と同時の記念事業として盛大に開催され、武徳殿内に会員一同の記念石碑が設置され桑原兵充理事長の記念石碑と東伏見慈晃総裁の石碑とそれぞれの記念植樹や前総裁の記念石碑などが建立された歴史的な大会行事でありました。そして、その年の十二月に本会は歴史的な法人化を果たし新しい一般社団法人大日本武徳会としての道程を歩む事となりました。二〇一六年には第五回世界武徳祭が国際部二十数カ国の参加と共に盛大に開催され、多くの貴重な感動が生まれ、その記念開会式において彬子女王殿下に御臨席賜り感動的なメッセージを頂戴いたしました事は、記憶に新しい事であります。

今年の七月から八月にかけて開催予定とされていた東京オリンピック・パリピックは世界的な新型コロナウイルスの感染流行の為、来年度に延期されました。もとよりオリンピックはスポーツの世界的祭典ですが、本会の主催する世界武徳祭は世界的な伝統武道の祭典です。毎回本大会において日本政府と世界各国の政府高官の方々から多くの素晴らしい祝辞を頂いてきました。それらのメッセージは大日本武徳会が武道を通じて世界平和と国際理解の促進に大きな貢献をしてきたという事に敬意を表すと記されています。本会はその認識を重く鑑み会員一人一人のご協力の元、さらに素晴らしい行事となるように努力していきます。

国際部の参加者が誇りとする所以は、彼らが日頃鍛錬してきた日本の伝統武道を歴史的な旧武徳殿において本会の先生方と共に演武し、その中で忘れたい感動を分かち合える事です。さらに彼らが喜びとするのは日本の伝統武道の神髄に直接触れる事が武道家として自らの大きな開眼の字びに結びつく事です。神髄という言葉の意味を本質の究極的な本質とするならば、彼らが目指しているのは日

本においてそれを自らの体験を通じて発見する事にあります。その為に多くの犠牲を払って彼らは遥々日本に幾度となく来日してきました。第一回世界武徳祭から毎回参加している国際部の会員も多数おります。その献身的な精神と努力に敬意を表さずにはおれません。国際部参加者が目の当たりにするのは彼らの模範となる素晴らしい日本の先生方です。礼節と規範に則った道場内外での行動・態度や武徳殿で披露される先生方の卓越した演武に深い感銘を受ける事は言うまでもありません。本会の規律ある紳士道がいろいろな方面で益々優雅に発揮されることを期待します。

本会行事において私達が目指している目的は本会創立の趣旨目的と一致しています。日本伝統武道の保存継承、国内外での総合的發展、青少年育成の促進、武道を通じて相互理解、国際親善、世界平和への貢献などが主要目的ですが、これらを全て含むと同時に現在と未来の本会の組織的發展を推進しなければなりません。近年、特に高齢化、少子化、その他地域社会学的な問題を含めて会員数が減少しております。これは本会だけの問題ではなくして日本全体の傾向であると思われますが、我々はその流れに対して力強く能動的に対処していかねばなりません。世界武徳祭という舞台は国内外に大きな伝統武道への勧めとしてメッセージを発信する最上の機会であると確信します。

本年度はやむなく延期となりましたが、来年度は記念すべき世界武徳祭・全国武徳祭が京都旧武徳殿で立派に開催される事を期待すると共に、ここからさらに新しい出発が始まることを祈願します。それは何事にもひるまない世界に羽ばたく大日本武徳会の力強い姿であり、世界に令和武徳の花の種を蒔き、日本と世界中に広めることであると思います。いつかその植えた種が輝かしき命の芽を出し、我が国と世界中に武徳の花が燦爛と咲き誇る時代がやってくる事を願って止みません。

末尾に本会の内外における發展に、多大なご尽力と貢献をしていただきました東伏見慈晃総裁並びに桑原兵充副総裁を始めとする、本会会員の皆様方に心から厚くお礼申し上げます。



第七回定時社員総会及び
第十一回武道執行専門委員会

日時 令和二年一月十九日（日）

場所 京都東急ホテル

第七回定時社員総会



第十一回武道執行専門委員会



懇親会





高段者審査会 合格者

【空手道・古武道】

八段 田中 天心

八段 二又 静明



第 27 回 平安神宮奉納 古武道演武大会



日 時： 令和元年 10 月 6 日（日）

正午

場 所： 平安神宮「額殿」

主 催： 一般社団法人 大日本武徳会

大会次第

◎ 平安神宮祈願参拝 午前11時30分より

玉 串 拝 礼

濱 田 鉄 心

◆◆◆ 開 会 式 ◆◆◆ 正午

司 会 進 行

大会進行委員長

藤 井 正 巳

① 開 会 宣 言

大会実行委員長

竹 田 豊

② 開 会 挨 拶

大 会 会 長

桑 原 兵 充

③ 演武上の注意

大会実行委員長

竹 田 豊

④ 祓 い の 儀

居合道 錬士七段

石 原 朋 英

◆◆◆ 演 武 ◆◆◆

*時間の都合上、演武時間は7分以内とする。試斬り並びに弓術・古武術も7分以内とします。

◆◆◆ 閉 会 式 ◆◆◆

① 納 め の 儀

居 合 道 六 段

岡 田 修 昌

② 講 評

大会実行副委員長

長 田 順 一

③ 閉 会 挨 拶

大 会 委 員 長

濱 田 鉄 心







第4回青龍殿 国宝青不動明王 奉納古武道演武大会



日 時： 令和元年 12 月 8 日（日）
午後 1 時

場 所： 青龍殿・大正武徳殿（将軍塚）

主 催： 一般社団法人 大日本武徳会

大会次第

◎ 青龍殿御祈願 午後1時より

◆◆◆ 開 会 式 ◆◆◆

司 会 進 行 大会進行委員長 藤 井 正 巳

① 開 会 宣 言 大会実行委員長 上 村 雅 彦

② 礼 国宝青不動明王・国旗・武徳会旗

③ 開 会 挨 拶 大 会 会 長 東伏見 慈 晃

④ 演武上の注意 大会実行委員長 上 村 雅 彦

⑤ 祓 い の 儀 居合道 範士八段 伊 藤 學

◆◆◆ 演 武 ◆◆◆

*時間の都合上、演武時間は7分以内とする。試斬りも7分以内とする。

◆◆◆ 閉 会 式 ◆◆◆

① 納 め の 儀 居合道 範士八段 市 村 章

② 講 評 大会検証委員長 中 田 浩 大

③ 閉 会 の 辞 大 会 委 員 長 濱 田 鉄 心





撮影 齋木泰徳

支部だより

令和元年

大阪府支部

武道研修会開催さる

大阪府支部長 村田 雅人

場所…住吉武道館（二F） 剣道場、柔道場

〒五五八〇〇四五

大阪市住吉区住吉二一九八十九

TEL 〇六―六六七八―二四二三

一般社団法人大日本武徳会大阪府支部武道研修会が令和元年十一月二十四日（日）に大阪、住吉大社境内住吉武道館、剣道場、柔道場にて開催されました。住吉武道館剣道場において、村田雅人支部長の開会の辞に始まり、ご来賓公益財団法人住吉名勝保存会住吉武道館館長、東郷信行先生のご臨席を賜り、温かい励ましのご祝辞を頂きました。また、本無理事山本楠城先生の丁寧なるご祝辞を頂きました。

さて、演武は神田派虚心流居合 佐野晃一先生の祓いの儀に始まり、無双直伝英信流居合道 村田雅人大誠会一門の演武を皮切りに一般演武が開始されました。まず、森内一蔵先生並びにそのご一門によ

る神伝円心流組討兵法ならびに唐手の演武が行われました。神事をも併せた迫力ある演武に感銘を覚えました。続いて、無双直伝英信流居合兵法ならびに神道夢想流杖術が樋口友視先生誠慧塾ご一門による清々しい立派な演武が行われました。そして無双直伝英信流居合道尾ノ上克己先生の年齢を感じさせない立派な演武に驚嘆致しました。続いて、素心流居合抜刀術宮園國男先生の見事な試斬に息をのむ思い圧巻でございました。続いて佐野晃一先生の神田派虚心流居合が披露されました。いつものように柔らかい立派な居合でございました。

そして、山本楠城先生ご一門による虚心流居合剣法ならびに居合道組形が披露されました。いつものように誠に立派な演武いつも感銘を受けております。そして団体演武の最終に無双流居合剣術太田先生ご一門の多数の方々の立派な演武が披露されました。一般演武の最後は広島県支部広島柳生会藤江成美先生ご一門の特別参加による第一、三学円の太刀、第二、試合勢法中段十四勢法柳生、第三、飛燕の太刀が披露されました。大変立派な迫力ある演武でございました。

なお、今回は誠慧塾初段昇段審査一名を行い合格と判定致しました。

なお、今回の参加者数三十六名でございました。

一般社団法人大日本武徳会の発展と各位の武徳に栄光あらんことを祈念申し上げます。乱文ご容赦下さい。

